

令和5年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

月日は百代の過客にして、行  
き交ふ年もまた旅人なり。船  
の上に生涯を浮かべ、馬の口  
とらへて老を迎ふる者は、日々  
旅にして旅をすみかとする。  
おくの細道より

学年

中一・二・三

氏名

各学年を選んで下さい。

課題解説

芭蕉の世界

松尾芭蕉は江戸時代の俳人。奥の細道は、門人、曾良を伴って江戸を出発、奥州、北陸道を巡った全行程約150日間、2400キロメートルに及ぶ旅の様子を、何句もの俳諧（当時の俳句の呼び名）と一緒に書いた紀行文で、1702年に発刊されました。

課題文はその冒頭です。これに続き「予もいづれの年よりか、片雲の風に誘はれて、漂泊の思ひやまず」と、述べています。

閑さや 岩にしみ入る

蝉の声

など多くの句が収められています。

（課題文は「書文協ことば会議」選定・創作）